



～会長・空知支部長が行政事務の外部委託等について要望～

平成22年11月10日午後、加藤会長と佐藤空知支部長が、田村滝川市長を表敬訪問しました。

滝川市役所5階の第1応接室で1時間余り、田村市長が公務の合間を縫って、吉井総務部長や田中総務課長とともに「北海道行政書士会との懇談会」という機会を設けてくださいました。

これは、先に行われた空知支部50周年記念式典に田村市長が来賓出席する等、日頃の支部活動の実績があったことから実現したものです。

市長は挨拶の中で「最近、民間の力、市民の力に驚く場面があった。これからは、外部の力が必要であり、その力を活用しながら市政を考えていきたい。」と述べられました。

会長は始めに市長に対し、空知支部創立50周年記念式典へ出席をいただいたことに感謝の意を伝えました。続いて、行政書士業務や北海道会の最近の動き、特に新しい分野のADR、社会貢献の一環としての成年後見支援センターの紹介、夕張市支援の経緯等を説明しました。その中で先般、全道の市町村長にお願いした、建設業者の入札参加資格審査申請業

務を外部委託する件、建設工事入札参加資格審査申請業務に関して郵送受付を実施する件、夕張市での確定申告時期・入札参加資格審査業務の支援内容について詳しく説明しました。

佐藤支部長からは、空知支部の紹介、10月の行政書士広報月間で各農業委員会を訪問し、農地転用に行政書士を活用することをお願いしてきた様子等を報告しました。

また、滝川市の次世代の育成策としての取組みである、障がい児の交流の場“そらぷちキッズキャンプ”の応援や交換留学制度の紹介に対して、本会も北海道障がい者条例制定に合わせて、8月に開催した障がい者支援フェア、セミナー等の報告をしました。

終始和やかに懇談は進み、市長から「今回の懇談会場であるこの第1応接室は、7年前来道された天皇陛下がご昼食をとられた所」とのお話に、会長、支部長は思わず驚き・感心して聞いていました。

今回の滝川市長との懇談会は、本会の進める“行政事務外部委託化に向けてのお願い”のトップセールス始動となりました。



市長挨拶



懇談会の様子